

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：長野県伊那市（伊那地方広域連合）

協定締結日：2016/12/27

活動状況：継続中

連携先窓口：伊那広域連合（下平課長）

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：醸造科学科 穂坂賢

活動体制（単位）：個人

活動目的：

醸造科学科が実施している3年後期の「醸造科学特別実習」での実習先への協力・支援（伊那市内酒造会社2社）

醸造科学科が行っている学外実習（2019年12月11日から24日まで）において、実習先（2社）への助成支援を行って頂いた。実習先の負担分と考えられる。ちなみに学生は2社で5名が参加した。なお伊那市での実習は約20年実施継続している。

カレッジ講座「伊那谷の食文化と酒蔵見学」を連携の一環として2020年2月1日、2日の1泊2日で実施した。参加者は一般の方20名であった（受講参加費は32,000円/人）。

伊那地方は独特の食文化圏であると同時に、醸造や食品の多く会社がある。その中より酒造会社2社、ウイスキー蒸留所1社、ローカルブリューワリー1社、食品会社1社の見学を行った。各社の見学日程調整、宿泊先の調整を伊那地域広域連合の下平氏（本学卒業生）に行って頂いた。有意義な講座であったとの受講者評価であった。

課題・改善点：

学生の学外実習においては、毎年の実施であるので、継続して支援を頂きたい。

また地域連携の面では、大学としては限られた教員のマンパワーでの連携になっているため、今後の連携体制の充実を図ることが重要である。